

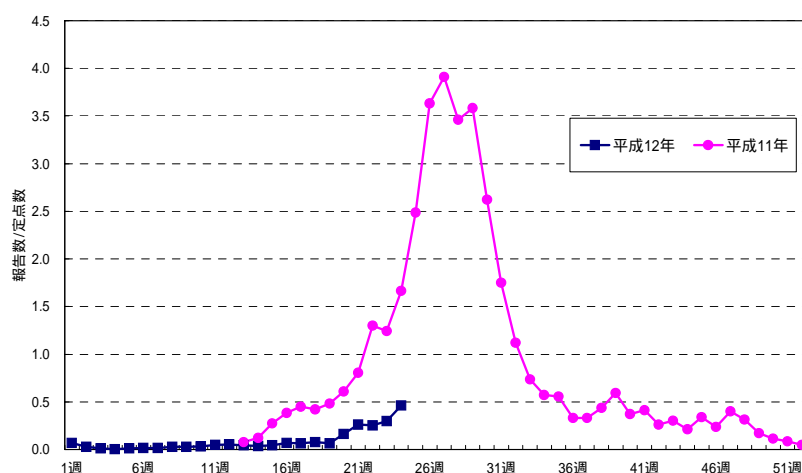
愛知県感染症情報

平成 12 年第 24 週（6 月第 2 週）

（コメント）

ヘルパンギーナ、手足口病は流行中で、例年これからピークをむかえていますので注意してください。

流行性耳下腺炎は流行中です。



手足口病（名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から）

（先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 带状疱疹 9歳女

溶連菌感染症が目立ちます。

咽頭痛以外に嘔吐を伴うことあり。

（一宮市 あさのこどもクリニック）

- ・ 病原性大腸菌 O-1 10ヶ月女、O-55 30歳男、O-166 2歳男 2名

アデノウイルス抗原陽性 7歳男

マイコプラズマ肺炎（抗体陽性者）4名（2歳男、4歳男、4歳男、6歳男）

ヘルパンギーナが急増してきました。

（尾西市 城後小児科）

- ・ 流行性耳下腺炎、溶連菌感染症が目立ちます。

（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）

- ・ ヘルパンギーナが増加してきています。

（江南市 みやぐちこどもクリニック）

● 尾張東部地区

- ・ ヘルパンギーナが少し目立ってきました。
溶連菌感染症、突発性発疹、水痘いずれも流行続いています。
幼児で1日だけの発熱でその他の症状所見のない症例がよくみられます。
(尾張旭市 佐伯小児科医院)
- ・ ヘルパンギーナ多く、水痘流行中です。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ 流行性角結膜炎を疑わせる患者さんが増加している。
(長久手町 スズムラ眼科医院)
- ・ 今週はヘルパンギーナが流行し始めました。水痘もまだ流行しています。
(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ 無菌性髄膜炎 1名
(小牧市 小牧市民病院)
- ・ 麻疹の流行が心配です。
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ 病原性大腸菌 O-6 VT1・VT2(-) 1歳男、O-1 VT1・VT2(-) 8ヶ月女。ヘルペス口内炎 2歳男
(東海市 小児科ハヤカワ医院)

● 西三河地区

- ・ カンピロバクター腸炎 2歳男
サルモネラ s p 4歳女
(豊田市 やふそ小児科)
- ・ マイコプラズマ肺炎(4歳女) マイコプラズマ抗体 ×80 から ×1280
に上昇した。刈谷総合病院に入院
髄膜脳炎の疑い(4歳男) 発熱後、数時間で痙攣重積、意識障害、髄
液細胞数 36 / 3 (μL) 藤田保健衛生大学病院に入院
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
- ・ サルモネラ O-8 14歳女
病原性大腸菌 O-6 VT(-)
(岡崎市 とみた小児科)
- ・ 引き続き A群溶連菌感染症目立ちます。
帯状疱疹 2名(16歳男、5歳男)
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ 溶連菌感染症 2名は母娘。
ムンプスワクチン接種済の1例。
(西尾市 やすい小児科)

- ・ ヘルペス口内炎 2 名（ 1 歳男、 2 歳女 ）
（西尾市 山岸クリニック）
- ・ 溶連菌感染症・水痘が多い。
（知立市 宮谷クリニック）
- 東三河地区
 - ・ 今週に入ってヘルパンギーナと、発熱、頭痛を訴える患者さんが増えてきました。
（豊橋市 あずまだこどもクリニック）
 - ・ 2、3ヶ所の施設で、水痘の小流行がみられます。
（田原町 かわせ小児科）

（ 1～3 類感染症の発生状況 ）

腸管出血性大腸菌感染症患者 2 名。

- ・ 足助保健所から報告の 9 歳男 6/6 発病、6/7 初診、6/13 診定。菌型は、O-157 VT1・VT2(+)。
- ・ 半田保健所から報告の 4 歳女 6/4 発病、6/11 初診、6/16 診定。菌型は、O-26 VT1(+)。

腸管出血性大腸菌保有者 1 名

- ・ 半田保健所から報告の 42 歳女 6/14 初診、6/14 診定。菌型は、O-157 VT2(+)。

細菌性赤痢患者 1 名

- ・ 津島保健所から報告の 73 歳男 6/7 発病、6/8 初診、6/16 診定。菌型は、ボイド C-11。

（ 全数把握の 4 類感染症の発生状況 ）

アメーバ赤痢患者 1 名。

梅毒患者 1 名。

第 22 週（ 5 月 29 日～6 月 3 日 ）の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が例年の同時期よりかなり多く、過去 10 年間で最大の流行曲線を描いている。患者の年齢階級別で見ると、3 歳から 7 歳の小児が全体の 60%を占め、ピークは 4～6 歳にある。咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘は例年の同時期に比べ定点当たり報告数がやや多くなっている。手足口病は熊本県でさらに流行が拡大しており、定点当たり報告数が 17.5 となっているほか、佐賀県、鹿児島県、奈良県、群馬県などでも患者報告数が多くなっている。麻疹は依然大阪府、千葉県、香川県、埼玉県などで流行が見られる。流行性角結膜炎は茨城県、愛媛県で定点当たり報告数が多い。

（ Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供 ）